

会議結果報告書

1 会議の名称

令和7年度第2回光市立図書館協議会会議

2 開催日時

令和8年2月13日（金） 13時30分～15時00分

3 開催場所

光市立図書館 2階 視聴覚室

4 出席者

5名（欠席3名）

5 公開・非公開の別

公開（傍聴人0名）

6 会議の議事録（要旨）

（1）館長挨拶

（2）資格審査（委員8人中5人出席、協議会成立）

（3）議事

ア 議題1 令和7年度事業の実施状況について
（事務局）

令和7年度事業の実施状況について説明

イ 議題2 令和8年度事業案について
（事務局）

令和8年度事業案について説明

（委員）

ひかり絆BOX活動の事業内容について教えてもらいたい。

（事務局）

この事業は第4次光市子どもの読書活動推進計画から行っているものです。ご家庭で読まれなくなった絵本や本、学習参考書を図書館にご提供いただき、職員が汚損状態等の確認を行い、ひかり絆BOX活動に合わせて持って行って展示し、来場された人に持ち帰ってもらっています。食料品や衣料品は主催者（光市社会福祉法人地域公益活動協議会）が集めて配布されていますが、

本は心の栄養として各家庭に1冊は置いてもらいたいと考え、この事業に参加しています。

(委員)

今年度は131冊持って帰ってもらえたとのことで、大変素晴らしい活動だと思います。

ウ 議題3 各委員からの提案事項等について

(ア) 開館50周年記念事業について

(委員欠席のため提案事項は事務局代読)

(事務局)

本年の7月3日にこの光市立図書館は開館50周年を迎えます。私たちは図書館が今後も人々の交流する学びや憩いの場となるよう年間を通じてイベントを行おうと、1月には落語会、今月は尺八と箏の演奏会など行う予定で、今後は作家さんの記念講演会の開催なども考えています。

また50周年を記念して図書館へのメッセージカードの募集や短歌コンクールの実施・表彰を行う事も予定しています。職員とボランティアの皆さんとの協働で取り組んでいきます。

(イ) 軽自動車改造型移動図書館車の導入提案について

(委員欠席のため提案事項は事務局代読)

(事務局)

先般より図書館協議会委員からのご意見を受けて、本年度、軽自動車図書館の購入について検討いたしました。購入にかかるコスト(560万円程度)や維持費を分析するとともに移動図書館車の必要性や他市との比較を行い、検討した結果、地域からの要望が少なかったこと、また市の限られた予算では現状で移動図書館車を維持することは困難との考えに至り今年度は断念しました。

しかしながら、機会があれば粘り強く提案を続けてまいりたいと思います。

(ウ) 図書館業務における生成AIの利活用について

(委員欠席のため提案事項は事務局代読)

(事務局)

生成AIについては経費の削減や図書館のサービス拡大の観点から注目はしています。一方で、生成AIへの質問の仕方によっては誤情報や情報源が曖昧であるなど不透明な点があるのが現状のところですので。利用にあたって

は図書館の職員においても正確な情報を見つけ、内容の解像度を上げる能力が必要になります。

では、使えないものなのかということではなく、今年度、古文書のアーカイブ化を進めていますが、他市では生成ＡＩを利用し現代の分かりやすい文章にしている事例もあります。将来的には、生成ＡＩを活用し、古文書の解説を行い、そうした作業を通じて、古文書の解説や歴史に興味を持ってもらうことにも繋がるかもしれないと考えています。ですので、図書館としてはこの利活用に期待をしており、活用できそうであれば積極的に活用していきたいと考えています。

(会長)

今、話題になっているＡＩについて興味を持って聞かせてもらいました。私はレファレンスや本の場所の問い合わせは図書館の職員と話して教えてもらうのが図書館に来る楽しみでもあります。特に子どもたちにとって図書館の職員との直接の会話が成長のためにも、本を好きになるためにも大事なことでと思います。一方で、古文書についてはこういう使い方があるのかと興味深く聞かせてもらいました。期待しています。

(エ) コンシェルジュ図書館としての役割、魅力のＨＰやＳＮＳでの発信について

※光市立図書館運営方針の一つとして市民の課題や疑問に答える「コンシェルジュ図書館」をあげています。

(委員)

「コンシェルジュ図書館」としての役割や魅力が市民にどれだけ伝わっているのか疑問に思っています。私が周りでは図書館が好きだという話をするとうと本とか興味ないという人が多いのが実情です。これだけ膨大な知識量があるところなので本が好きな人だけに来るところではないということを伝えたいと常々思っていました。育児や相続など生活の悩みで困った時にみんな書店へ本を買いに行くことがあると思います。今はＳＮＳでも調べたりできますが、図書館に行けばこんな本があるというのをＳＮＳで発信していくことで図書館に行く人が増えるきっかけになればいいなと思います。

(事務局)

今年度は、協議会委員のご提案により試行的にはありますが行事等の情報発信をInstagramにより行ってまいりました。今年は図書館開館５０周年ということで様々なイベントを行っていく予定です。イベントに足を運んで頂くために掲載件数も増加する予定ですので、Instagramを読み込む二次元バーコードを配布し、さらにPRをしていきたいと考えています。

そうした中で、まずは、イベントを通じた身近な話題として、著作権等には気をつけつつ図書館資料の展示PRなどを盛り込んでいきたいと思います。

(会長)

提案事項については以上になりますが、今回が任期の最後の協議会となりますので、委員から感想を頂けたらと思います。

(委員)

この度、委員になったことで図書館がより身近に感じるようになりました。図書館のInstagramをフォローし、電子図書館にも登録しました。

(委員)

私はボランティアとして学校等で読み聞かせの活動を行っています。その活動を通じて、図書館がもっと学校図書館に関われるようになればと思います。

(委員)

私は協議会委員になったことをきっかけにより本と人のことを考えるようになりました。これからは周りに本がない子が増えてくるのではないかと危惧しています。そのためにも子ども、そして親を本とどう繋げていくか考えていきたいと思います。

(会長)

令和6年度の図書館年報において市民一人当たりの貸出冊数が4.45冊となっています。市民の中には貸出が0冊の人が多くいるのだろうと思われます。図書館が発信するフェイスブックやInstagramがそうした人に届いてほしいと思います。

7 問合せ先

光市立図書館

電話番号：0833-72-1440